

平成27年度 都立学校・学校経営シート

校章		<b>都立葛西工業高等学校</b>		全日制課程		進路	実績	特徴	四年制大学	6%	短期大学	0%	専門学校	20%	就職	74%	その他	0%					
		無限なる「可能性」を信じ、目標に向かって、あきらめず努力する生徒を応援します。								デュアルシステム推進校、キャリア教育の推進、インターンシップ。就職希望者全員就職													
基本情報	所在地	〒132-0024 江戸川区一之江七丁目68番1号		電話番号	03-3653-4111	基	本	情	報	主な部活動	ラグビー部・選手3名が東京選抜に選ばれ関東大会出場して優勝。バスケットボール部・バドミントン部・サッカー部・自動車部が活発である。												
	アクセス	(1) 都営地下鉄 新宿線「一之江駅」下車 徒歩8分 (2) 東西線 葛西駅よりバスにて東新小岩行「葛西工業高校前」下車 徒歩3分 (3) JR新小岩駅よりバスにて葛西駅行「一之江駅」下車 徒歩8分		学校評価	80%以上の保護者が入学させて良かった。本校の教育に対して肯定的である。																		
本学情報	学 科	機械科、電子科、建築科		入 学 者 選 抜 情 報	募 集 人 員	25年度入学生	推薦	学 力 検 査	26年度入学生	推薦	学 力 検 査	27年度入学生	推薦	学 力 検 査	募集人員	機械科(推薦:24人、学力:46人)、電子科(推薦:12人、学力:23人)、建築科(推薦:24人、学力:46人) 計175人							
	在籍生徒数	機械科198人(男192人・女6人) 電子科106人(男102人・女4人) 建築科191人(男173人・女18人) 計495人(男467人・女28人)													機械科	1.43	電子科	3.10	建築科	1.33	計	1.71	機械科
報 告	教育課程の特徴	ものづくり教育、資格取得、部活動推進、少人数・習熟度別授業、デュアルシステム推進校、地域連携推進		その他	自律経営推進予算 27年度(単位:万円)		2,743		その他	推薦枠3割 調査書:面接:実技 5:2:3 一次募集 国数英 学力検査:調査書 5:5													
	ホームページ	http://www.kasaikogyo-h.metro.tokyo.jp/		その他	デュアルシステム推進校 ねぶた巡行(一之江駅)		校服	標準服	男子	詰襟(黒)		女子	ブレザー(紺)		主な学校行事	体育大会・文化祭(ねぶた運行)・マラソン大会・修学旅行(沖縄)							
目指す学校	技能を重視した工業高校のリーダー校として、基本的人権の精神を涵養させるとともに、生徒一人一人が「義務と責任」を自覚し豊かな創造性と独創性を発揮して地域に貢献する学校、及び生徒の無限なる可能性を引き出し、目標に向けて努力する生徒を全教職員が一丸となって応援する学校。入学した生徒全員が卒業できる学校を目指す。																						

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価									
目 標 ①	◎ 基本的生活習慣の定着・部活動の活性化⇒退学者の減少 ①皆勤・精勤者を増加させ、遅刻指導の一層の改善・充実を進め、遅刻常習者の減少を図る。 ②部活動の加入率を向上させ、一層の活性化を進め帰属意識を高めさせる。 ③非行を未然に防ぐ指導を充実させ、特別指導の減少を図る。	①皆勤・精勤者は、前年32%→33%へ微増した。遅刻指導の強化により年間10回以上の遅刻者は、前年37%→24%へ減少した。 ②4月の部活動加入率が、前年87%→88%であった。2学期末では、前年56%→67%と増加傾向にある。 ③特別指導件数、前年6件→14件へ増加した。きめ細かい指導を行い、規範意識の向上を図る。									
目 標 ②	◎ 学習指導の充実・資格取得指導の充実⇒退学者減少 ①学力スタンダード・技能スタンダードを定着させ、一層学習意欲を向上させ、単位不認定者を減少させるとともに、各教科における資格取得指導を充実させる。 ②資格取得、検定、ものづくりコンテスト等に積極的に挑戦する意識・意欲を高めさせる。	①習熟度別授業・少人数授業の定着と、定期考査ごとの個別指導連絡会議により課題のある生徒に学校全体で取り組める体制とした。 ②資格取得・各種検定合格者の延べ人数は、前年648名→689名へと増加傾向にある。また、ジュニアマイスター顕彰取得者は前年10名→14名へと増加した。 ※退学者数、前年度16名→9名へ減少した。									
目 標 ③	◎ キャリア教育の充実・デュアルシステム推進⇒全員就職 ①東小松川工場会等の企業見学会・講演会の一層の改善・充実を図る。 ②インターンシップ・ワーキングプログラム協力企業と参加者を増加させ、全生徒のインターンシップ参加を目指す。 ③希望者全員の就職を維持する。	①東小松川工場会との連携による工場見学および講演会は今年度も高い成果を上げた。 ②インターンシップ参加者は前年度116名→93名へと減少した。ワーキングプログラム参加者は前年度11名→8名へ減少したが50%の生徒が受け入れ企業に就職した。 ③就職希望者106名全員が内定後、卒業式を迎えた。									

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容						今年度		28年度	29年度	30年度
	目標①	退学者減少	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標②	ジュニアマイスター顕彰取得者数	29名	21名	30名	12名	20名	10名	20名	25名	30名	35名
目標③	インターンシップ参加者数	80名	81名	90名	111名	120名	116名	130名	140名	145名	150名